



とみ た なお き
富田 直樹議員(43歳)

第1 常任委員会 / 議会広報委員会

自分を育ててくれた留萌を未来に継承すべく、議員を志しました。

市民の目線で財政再建を検証し、効果的な政策を促すことが役割と考えます。マチづくり活動の経験を生かし、汗を流し実践する議員をめざします。



の ろ て る ゆ き
野呂 照幸議員(51歳)

第2 常任委員会 / 議会広報委員会

議会のチェック機能の大切さは、夕張の財政破綻を通じて多くの市民が学んだところ。いま、市民と行政が様々な情報を共有することが大事です。勤労者・生活者の声を聞き同じ目線に立って議会活動に取り組みます。



は ら だ ま さ お
原田 昌男議員(67歳)

議長 / 第2 常任委員会

子どもからお年寄りまでが安心して暮らせる豊かな街づくり。

高齢化社会の到来に向けて福祉の向上、医療の充実と精神的安らぎ、さらには夢と活力ある都市づくりに専念して参ります。



み ち し げ ゆ き
道 重 幸議員(58歳)

副議長 / 第1 常任委員会

今の留萌市にとって財政再建と地域医療の充実は大きな課題です。市民負担を極力軽減しながら財政再建に努め、安全で安心な地域医療の在り方を推進します。地域経済の再生にも尽力し、人口流出に歯止めをかける雇用の確保を目指します。



む ら や ま
村山 ゆかり議員(45歳)

第2 常任委員会(副委員長) / 議会広報委員会(委員長)

留萌市の危機的な財政状況を正しくふまえ、議員としての責務を貫く努力をし、満足度の高い議会を目指したい。

また、力強く生き抜く地域力をつけるためのまちづくり活動に市民の皆様と共に力を入れたいと思います。



て ん や た か ゆ き
天谷 孝行議員(57歳)

第2 常任委員会(委員長)

現在、留萌市には生活に直結した重要な課題が山積しています。市民が「安心して、安全に暮らせる街」になるように次の事を重点に取り組みます。「1 行財政改革の推進、2 安定した地域医療の確立、3 少子高齢化対策と教育問題」



の ざ き よ し お
野崎 良夫議員(65歳)

監査委員 / 第2 常任委員会 / 議会運営委員会

私は、地方分権自治と医療政策のエキスパートになります、市政に対するチェック能力を高めます、安心と信頼の医療と福祉の施策を求めます。そして、ふる里再生に全力投球します。



は ら だ た け み
原田 丈三議員(58歳)

第1 常任委員会 / 議会広報委員会

古里留萌の再生が最大の願いです。そして、「第2の夕張」になることだけは絶対に避けなければなりません。「小さな市役所」と「議員のボランティア化」は、そのための手段です。今任期中に実現の方向性を探っていきたいと考えています。



ま つ も と し じゅう じ
松本 衆司議員(45歳)

第2 常任委員会 / 議会運営委員会(委員長)

「大好きなこのマチ留萌を、大切な子供達に、大好きのまま伝えたい」

この想いで議員活動をしています。先送り、後回しの議会は必要ありません。このマチのため、次代へとマチをつなげるために、一所懸命行動します。



む ら か み ひ と し
村上 均議員(50歳)

第1 常任委員会 / 議会運営委員会 / 議会広報委員会(副委員長)

市民の皆様の温かいご支援により、三度議会で働かせて頂く事が出来ます。

本来、政治とは「個人の幸せと、社会の繁栄に寄与するもの」と言うのが私の変わらぬ信条です。市民の目線で住みよい街づくりの為に全力で頑張ります。

27000人の市民の声を市政に!

新留萌市議会

新議員16人からのメッセージ

去る4月22日に行われた留萌市議会議員選挙で、16人の新しい市議会議員が誕生しました。5月15日には、当選後、初の議会となる「留萌市議会第1回臨時会」が開かれ、議長・副議長・監査委員をはじめ、各委員会の委員が決まりました。市民の代表として、今後4年間の議員活動を始動した新議員の皆さんの抱負や市民の皆様へのメッセージをご紹介します。
(紹介順序は50音順。年齢は6月1日現在。)



お の と し お
小野 敏雄議員(53歳)

第1 常任委員会 / 議会運営委員会

「良いものは良い、悪いものは悪いとはっきり言える市民の代弁者」となる。



さ か も と も り ま さ
坂本 守正議員(64歳)

第1 常任委員会(副委員長)

市民の目線・暮らす人々の利益を重視する視点で、議会に反映します、医療、福祉、介護、教育、子育て支援等の暮らしの安全・安心を守る施策を求めます、市民との対話、情報交換を積極的に行い、協働の街づくりを求めます。



ち ん だ りょう こ
珍田 亮子議員(62歳)

第1 常任委員会(委員長)

「人づくりは街づくり」を基本として、すべての人が安心して暮らせ、未来に誇れる留萌を創るために働きます。子ども、高齢者、障害を持っている方達、生活弱者の側に立ち福祉の充実に努めます。行革とチェック機能を強化させます。



え ざ わ じゅん じ
江澤 順次議員(67歳)

第2 常任委員会 / 議会運営委員会(副委員長)

2期目も引き続き、行政改革、財政改革、議会改革などを推進していく、ただ、市民生活に支障のないようにすること。

市民と一緒に地方自治のあり方について、考える必要がある。特に、地方分権のあり方について、認識を深めることである。



さ か も と し げる
坂本 茂議員(67歳)

第2 常任委員会

医療・福祉の切り下げ、重い税金など悪政の押し付けが強まる今、暮らしを守る防波堤として市と議会が果たす役割は益々重要になっています。私は、皆さんの声を真っすぐ議会に届け、市政をチェックしてまいります。



す が わ ら ち づ こ
菅原 千鶴子議員(53歳)

第1 常任委員会

議会人として行政全般のチェックをしっかりと行い、市民の声をしっかりと市政に届けて、市民と一緒に安心のまちづくりをしていきたいと思っています。特に生活弱者がこれからもこのまちに住み続けられるように頑張ります。